

# 会 議 録

会 議 名	令和2年度第1回 辰野町図書館協議会
開 催 日 時	令和2年7月30日(木) 午前10時30分～11時30分
場 所	辰野町立辰野図書館2階会議室
出 席 者	委員6名中4名(沖山委員、有賀委員欠席)、教育長、館長、事務局2名
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 開会のことば</li> <li>2. 委嘱状交付</li> <li>3. 教育長あいさつ</li> <li>4. 自己紹介</li> <li>5. 会長選出</li> <li>6. 協議事項(進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 令和元年度図書館利用状況について</li> <li>2) 令和2年度蔵書点検結果報告</li> <li>3) 令和2年度図書館事業について</li> <li>4) その他</li> </ol> </li> <li>7. 閉会のことば</li> </ol>
会 議 結 果	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. 委嘱状交付</li> <li>5. 会長選出 互選により川島弘さんを選出</li> <li>6. 協議事項(進行 会長) <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 令和元年度図書館利用状況について 事務局から説明し、質疑を経てご了承いただく。</li> <li>2) 令和2年度蔵書点検結果報告 事務局から説明し、質疑を経てご了承いただく。</li> <li>3) 令和2年度図書館事業について 事務局から説明し、質疑を経てご了承いただく。</li> <li>4) その他 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策関連 図書選定について</li> </ol> </li> </ol>
発 言 者	発言の内容
会 長	<p>皆さん改めましてこんにちは。今、引き続き会長をということで仰せつかりました。2年間やらせていただきたいと思いますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。宮澤先生のあいさつにもありましたけれども、コロナがもう半年以上続く中で社会全体が非常に厳しい状況が続いているわけです。そういう中でいろんな課題がありますけれども、ウィズ・コロナという状況の中でこそ考えられる図書館の運営というものがあろうかと思えます。それに加えて、これはコロナ以前の問題でしたけれども、高齢化社会がどんどん進展している、図書館に来たくてもなかなか来られないお年寄りの方もいらっしゃる。また、身体に障害があつてなかなか思うようにこうした場所の利用ができない、こういうような人に対するニーズにどう応えていくか、そんなことも含めて、図書館が大きな課題を抱えている状況であろうかと思えます。そういう中で協議会としても精一杯運営に協力をさせていただいて、そうした課題に向かっていたいただければと思います。</p> <p>(協議事項事務局説明後)</p> <p>ご質問等ありましたらお願いします。</p>

B	予約による貸出のみの期間があったと思うが、その状況を教えてほしい。
事務局 (千田)	今年度になってからの数字は載っていませんが、電話とインターネットによる予約の数は、3月～5月までは多くて、一日に30～40件程あった。一旦休館をはさみ、開館をし始めて30分～1時間程度ですが館内を見られるようになってからは、電話の予約はほぼなくなり、インターネットは以前からされる方が継続して予約されているという状況です。インターネット予約が便利ということで何回か広報をしているが、使い慣れている方はそのまま使っているし、電話予約も受けてはいるが今はなくなってご自分で見に来て選ぶというのが主流に戻りました。
B	電話予約を利用したが、電話予約をするにあたっては図書館のホームページを見て貸出状況を見て借りるようにして、それ以降そうしている。行って選ばないような形で、ホームページ見て予約して、夫が行くので私は行かないでお願いをして。ホームページを見ると、自分の目で見て選ぶよりはちょっと視野が広がる。今まで読まなかったジャンルを読む機会もあったり。
事務局 (吉澤)	予約で言うと、コロナの前までは貸出中の資料の予約しかできなかった。それを、在架といいます。図書館に現在あって貸出中ではない資料の予約もできるようなかたちに、それは今もずっと継続してやっています。ただそうするとどうしてもネット予約だとタイムラグが生じてしまって、ネットで予約したときは貸出可能になっていて予約入れても、図書館に来た人が借りていってしまうと直接予約した方が来て物がないという状況があるので、貸出可能の資料についても必ず連絡を差し上げてから借りに来ていただくという風に運用していますけれども、結構、置き置きとって在架の資料の予約も増えたりしています。便利に、予約については使いやすくはなった、わかる人は使うという感じです。
B	貸出中と分かるのも利点ですし、貸出中と分かりそれを読みたければネットでも予約可能だと。
会長	一応私のほうから確認ですが、コロナの第2波ということも言われ、また状況が変わる可能性もあるわけですがけれども、現時点での図書館の開館状況はどのようになっているか確認させていただきたいと思います。
事務局 (千田)	その他になります(資料により説明)。
会長	利用者が激減してしまった、これはもうコロナと原因がはっきりしていますので、やむを得ないですので、早くこの騒ぎが収まればと思います。非常に残念なのは、予定をしていたさまざまな催し物が中止を余儀なくされたわけですがけれども、図書館まつりのころは何とかなっているといいですが。
事務局 (吉澤)	(その他説明後)コロナの関係の補足です。図書館というのはもともと、誰でも自由にお入りいただける施設です。ただコロナの感染拡大防止という観点から今、入館記録を全部つけています。今日お集まりの方は事務局のほうで名簿がありますし、貸出とか返却の方は一応そのログがシステムの中に残る。それ以外の、新聞だとか雑誌だけの閲覧とか学習室使うだけとかレファレンスコーナーを使うだけという方は、まったくシステムを通らないのですが、一応連絡票をご記入いただいて提出いただいています。そうすると7月30日、図書館に入って図書館の資料を使ったりみた方が、どなたがおいでになったかが分かる。そしてそれを一日一日残しています。それについては一ヶ月で処分をします。それを作るのは千田係長一人ということで、誰が責任を持ってやるかということは決めていて、ほかの職員はもうアクセスできない、見られないという状況にしています。これについては最初、記録をとることについては、全国的にも賛否両論あり、当初、日本図書館協会は「入館記録

	<p>を作ってください」というガイドラインを出したのですけれども、いろんな図書館からやはりそれはまずいのではないかと、そういう意見もあったりする中で、現場に任されたんですね。それで辰野図書館はなぜ(入館記録を)とっているかといいますと、何かあったときに図書館から入館の記録が残っている方に対して、こういうことがあったので不安なようだったら最寄の保健所なり医院にご相談くださいという情報を、図書館から利用者の方にお出しするためだけにとっています。なので図書館から、例えば要請があるからといって保健所に名簿を出すとかそういったことは一切ないということを前提としてやっています。ただこれも、それが嫌だから図書館に行かないという方もいらっしゃいますし、このところ「まだこんなことやっているんですか」と言うような方もいらっしゃいます。ここは本当に悩ましいところですが、今の状態の中では、感染防止、ひいては命を守る、大げさなんですけれども、やはりそういう部分でも貢献しなくちゃいけないかなということで、入館記録はずっととっていますので、ぜひご理解いただければと思います。その辺の「守秘義務」というものは重々承知していますし、プライバシー保護も配慮した上でやっているというところだけご理解いただければと思います。</p>
会 長	<p>今のような、コロナに関連して困った事例などがありますか。</p>
事 務 局 ( 吉 澤 )	<p>図書館職員の思いと利用者の気持ちの温度差はだいぶあります。「当たり前だよ、大変だね」と言ってくれる方もいれば、「そんなの東京だけの問題なんだから、ここでこんなことしないんじゃないか」と言う方もいらっしゃって、そこはもうご協力をお願いしますとスタンスです。カウンターの職員が上手に、だましましと言うといけませんが、理解していただきながら運用しているような状況です。感染の状況が日々変わってくるので、対策も臨機応変に変えなくてはいけない部分が多くそこが大変です。町も本部があるが細かいことは結局現場で決めないといけないので、そこは責任をもって係長中心に職員が話し合いながらやっています。一番大変なのは利用者さんとの温度差の中でクレームめいたことが若干寄せられるところなんです。</p>
教 育 長	<p>コロナの関係で学校がそれぞれ課題があるのですけれども、家庭で学習をしてかなければいけない、そんな時に町内の小中学生にインターネットが可能か調べさせていただきました。そうしたところ、要するにインターネットの環境が整っていないとか、整っていても子どもだけにはさせたくないという家庭が約2割の家庭が、環境が整わないと。今、町ではオンラインによる学習の準備をしているが、すぐにできるわけではない。そういったときにその2割の児童生徒をどうするかが課題で、学校に来ればいいと。つまりは、さまざまな人がオンラインをやっている先進校にあっては学校でさせるんですね。でも子どもによっては登校ができない、学校が嫌だ、あるいは行きにくいという子もいると思うんです。辰野町でもいままで不登校気味だった子が、学校が閉じたことによって学校に来られてる。けれどまた学校が再開するとまたちょっとということになる。そうするとこの2割の子どもたちをどうするかということなんですけれども、全部学校へおいでと言うことはできない。そうすると様々な町の公共施設でその子達を受け入れてやるということで、例えば町民会館や荒神山のパークセンター辺りに、あるいは学校も含めて、その子が行きやすいところへ行って、万が一の場合はそこでオンラインで学習するというようなことも進めていくのですが、その中のひとつとして図書館が利用できないものかと思った。例えば学習室にもWi-Fiの環境等が整えられれば、できるとするならば、そういう、学校には行けないけれど、あるいは学校より近いという児童生徒がここへ来てやることはいいんじゃないかと。町民会館も含めてそういったことを考えてい</p>

	<p>って、財政措置を伴うので来年度あるいは本年度補正で要望するようになってくるのですけれど、家庭に ICT 環境の整っていない子どもさんで学校にも行けないけれど図書館には来れるという子どもたちに門戸を広げることができるかどうかを検討してもいい気がする。</p>
A	<p>今言われたような、通常であれば学校という通う場所があってという話しですが、子どもは夏休みは解放されるというところがあって、それが今の現状では子どもたちはかなりのストレスになっていると思う。テレビでもいろいろやっているのですが、観ているのが忍びないぐらい、そこまでテレビでやってもいいのかみたいな番組が多い気がする。それでテレビ漬けになってしまっている。やはり地域でそういった状況の子どもたちが安心して行けるような場所ということが大事ではないか。以前たまたま知人がサックスとギターと、女性の方と三人で自分たちの音楽をなんとか広めたい、聴いてもらいたいということで、ほたるチャンネルでやっていました。ああいうものを観てみると、音楽は好きですけど、知っている人がやっていると聴き入っていたりするんです。そういった番組を、できる人にも提案してもらって、単に観て感激するだけではなくて、観たことによって自分の家の周りのこれを使って何か作ってみようとか、自分の家で何か発見できるような番組みたいなものができれば、テレビを受けるだけでなくそこから自分の世界が広がるようなものが、こういう中から育つのもいいのではないか。今マスコミのあり方とかどうかと思っている中で、やっぱこんな自然がいっぱいあっても出られないというのは、学校行かなくちゃというのとは違った苦痛が、夏休みになるとかわいそうかな。</p>
事務局 (吉澤)	<p>Wi-Fi の問題でいえば、図書館は今、一般向けの Wi-Fi のルーターを設置してあるのですけれど、2 階までは電波が弱くて届かないと思います。図書館のどこにいても Wi-Fi がつながるという状態になれば、会議室や 202 学習室や学習室を子どもたちに開放して使ってもらおうということもできますし、今オンラインミーティングなどでも 30 人集まらなくても、例えばそれぞれのお家でオンラインで、図書館で講師の方をお呼びしてオンラインでお家で参加していただくということもできるので、公共施設に Wi-Fi というのはぜひお願いしたいと思います。やはり時代の流れとして。今図書館でつけているのはバッファロという民間のメーカーで電波があまり強いものではなく、つないでいると 30 分おきにバッファロの宣伝が入ってくるようなそんな内容なので、そうではなくて、町全体の方針として公共施設であれば Wi-Fi つなげるということがあれば、利用率はこれから上がっていくのではないかと思います。</p>
教育長	<p>そうすればコロナでなくても、一般の方も巻き込んで、使いたければ Wi-Fi 使えてここでやれるとなればまた新たな環境となる。</p>
事務局 (吉澤)	<p>コワーキングスペース的につながっていけば、大きく言うと本当に東京から地方へという流れの中でひとつの貢献ができる気がします。人口を増やすとか移住者を増やすという流れにもつながります。</p>
教育長	<p>町民会館も正直なところ Wi-Fi は完璧ではないけれども、これから整備していかなければいけない。具体的には予算確保とかそこまではいけないのだけれど。</p>
A	<p>地域の中でもパソコン教室があって、勤めていた人たちが講師になって地域の人たち、大体おばちゃんたちなんだけれど、毎年やっていたら講師の先生がもう辞めたいって言うので、せっかくだからやればって言ったら、もうパターンが見えちゃってるんですね。来る人たちも、ワードとかエクセルとか大体パターンができちゃうとそれ以上発展してこない。その人に Wi-Fi とかで通信とかはできないのか、教えてもらえないかという話をしたら、Wi-Fi がないからだめだという話で、そこ</p>

	<p>で切れてしまった。そういうものが、情報が入ってくれば、図書館で今何ができるのかとか、支所とか、隣が塩尻市だから支所って言う、ああいうところとつながればまだそこが地域の子どもたちとか地域の人たちが、社会教育じゃないですけども、そういったものに活用できる。Wi-Fi というのがあるというのは地域にとってはいいことだと思う。</p>
B	<p>突然ですが、全然知らなかったのですが、辰野図書館の児童書はとても充実していると思う。あまりそういう事実を知らなかったのでぜひ知らせたいと。先日帰省を自粛している娘と話をしていて、図書館にいったらいいのですけれど、たまたま児童書の話をして、辰野図書館にはたくさんあるから、しかも市の図書館だからあるでしょ、という話をしたら、知らなかったの、辰野図書館にある本はその辺の図書館にはないよ、と。結構いろんな分野の本を読んでいるらしく、いまだに児童書も読んだりしているが、辰野図書館の蔵書はとても充実していると聞きまして、その充実している環境を活かす方法はないのかと思いました。</p>
会 長	<p>大変うれしいご意見です。数多のスタッフの皆さんのご努力の賜物かと思えますけれど、これからもぜひがんばって、信州に辰野図書館あり、という風にならなうってほしいと思います。</p>
館 長	<p>館長になって初めてパソコンで予約して、何冊か借りてみました。やってみると意外と簡単でした。皆さんも町のホームページから、やってみてください。小野図書館の方も、かなり古い本がありまして、一番高いところの届かない本を降ろしてきましたけれど、何十年というほこりがかぶったような本もありました。一度は見ていただいて、最終的な整理があると思いますが、こんな形でやっているというところを見ていただければと思います。</p>
会 長	<p>前々回か、小野図書館へ私たち行きまして協議会を開催しましたけれども、もう一回、スペースはもう取れませんか。</p>
事務局 (吉澤)	<p>図書館協議会というよりも、蔵書をご覧になりたい方に有志でというかたちが一番スムーズかと思えます。児童書については小中学校だとか学童への払い出しを最優先にするつもりです。一般書についてはかなり郷土の資料で貴重なものがあると想像されるので、一旦、有志だけで確認に行きまして、辰野図書館の蔵書と照合した上で、移管した方がいいものだけを印をつけるというようなかたちでできればいいかと思っています。その場で協議会というとなまた、実際の作業もあつたりするので難しいです。その辺は、川島会長のご都合を中心に都合を合わせて、日が決まったら皆さんにお知らせして、ご希望のある方はご一緒にというような進め方でよろしければ、進めたいと思います。</p>
A	<p>できれば、図書館を片付けているということ、閉じられると知らなかったというのもあれだし、郷愁というか、電車がなくなるときに最後にみんなが乗るといような、郷愁の世界じゃないですけど、図書館があったことがなんなのかというのがある意味で、違った意味で広がるとまた、今の図書館のありようが見えてくるかと思っています。</p>
会 長	<p>皆様の熱心な協議ありがとうございました。今日は、コロナの状況の中でいろいろな図書館として抱える問題を中心に話されました。またそれに関連して、今後の図書館、Wi-Fi の整備等重要な課題についてもご説明がございました。皆さん知恵を出しあってよりよい図書館につながるようにしたいと思います。今日はありがとうございました。以上で閉じたいと思います。</p>